

イベント

産業技術総合研究所 新技術セミナー (香川県産業技術センター 研究成果発表会)

(共催：香川県産業技術センター)

【開催趣旨】

県内企業との共同研究などの最近の研究成果等についての発表会を開催します。また、産総研四国センターの研究者が、産総研における研究成果について講演します。

【日 時】 平成28年6月13日（月）13時30分～16時45分

【会 場】 香川県産業技術センター 3階研修室・会議室（〒761-8031 高松市郷東町587-1）

【参加費】 無料

【お申込み】 FAX、E-mail（締切：2016年6月10日(金)）

【プログラム概要】

○工業部門

13:30～13:40 挨拶

産総研 四国センター所長

13:40～14:10 講演「光ピンセットマイクロ操作の高機能・汎用化とその応用」

産総研 健康工学研究部門 田中芳夫

14:20～15:05 研究成果発表「冷凍食品の製造効率化ロボットの研究開発について」ほか2テーマ
香川県産業技術センター システム技術部門

15:10～15:55 研究成果発表「炭素繊維複合材料の高精度・高能率切削加工技術に関する研究（第4報）」ほか2テーマ

香川県産業技術センター 生産技術部門

16:00～16:45 研究成果発表「3Dプリンタによるセラミックスの3次元積層造形緻密体の作製」
ほか2テーマ

香川県産業技術センター 材料技術部門

○食品部門

14:40～15:10 講演「「農林水産系のファインバブル技術開発」の全容と産総研の役割」

産総研 健康工学研究部門 苑田晃成

15:20～16:20 研究成果発表「冷凍食品製造工程における加工技術の改善」ほか3テーマ

香川県産業技術センター 食品研究所

【問い合わせ先】

香川県産業技術センター 企画情報部門

Tel：087-881-3175/Fax:087-881-0425

E-mail：hamada@itc.pref.kagawa.jp

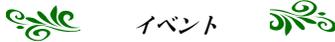
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

香川県産業技術センター

検索

CLICK!!

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/sangi/04/16-06.html#04>



イベント

第93回「高松5：30クラブ」

【開催趣旨】

地域を元気にする意欲に燃えた人が集まり、肩書き抜きで交流する場、普段なかなか知り合えないような人が一同に集まり、ネットワークの輪を広げる場として「高松5：30クラブ」を開催しています。

【日 時】 平成28年6月23日(木) 17:30～

【会 場】 香川大学オーリースクエア2F多目的ホール（〒760-0016 高松市幸町1-1）

【参加費】 1,000円

【事務局：7機関】

四国経済連合会、高松商工会議所、香川大学、香川経済同友会、産総研四国センター、四国経済産業局、四国産業・技術振興センター

【問い合わせ先】 〒760-0033 香川県高松市丸の内2-5
一般財団法人 四国産業・技術振興センター
E-mail：step@tri-step.or.jp
TEL：087-851-7025 FAX：087-851-7027

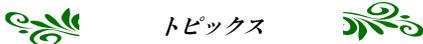
【参加お申込み、プログラム等の詳細はこちらから】

高松5：30クラブ

検索

CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>



トピックス

産総研の最近の主な研究成果

(平成28年5月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2016/05/09>

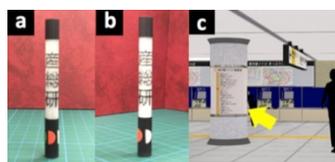
どの方向からも画像が自分に向いているように見えるディスプレイを開発
—標識・広告・テレビなどでの活用により情報にアクセスしやすい環境の実現を目指して—

【ポイント】

- ・独自の表示技術を用いどの方向から見ても自分に向いているように表示できるディスプレイを開発
- ・異なる角度から見ても、移動しながらでも全ての利用者に正面向きに表示
- ・広告宣伝効果の向上や、公共スペース、交通機関や大型施設などの情報環境の改善に貢献

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160509/pr20160509.html
(人間情報研究部門)



<前ページから>

<発表・掲載日：2016/05/10>

青色顔料が高性能アンモニア吸着材であることを発見

—悪臭除去、PM2.5対策、燃料電池用水素精製へ期待—

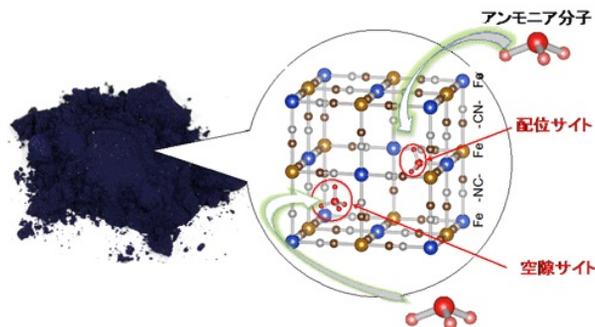
【ポイント】

- 青色顔料のプルシアンブルーのアンモニア吸着能が従来のアンモニア吸着材に勝ることを発見
- 元素置換や欠陥導入でプルシアンブルーの構造を原子レベルで制御し、アンモニア吸着容量をさらに向上
- 臭気を感じられないほど低濃度のアンモニアも吸着でき、悪臭やPM2.5の原因物質の除去に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160510_2/pr20160510_2.html

(ナノ材料研究部門)



<発表・掲載日：2016/05/10>

棒状やリボン状に形状制御されたナノ炭素材料の新しい合成法を開発

—高効率で量産可能な製造方法を開発—

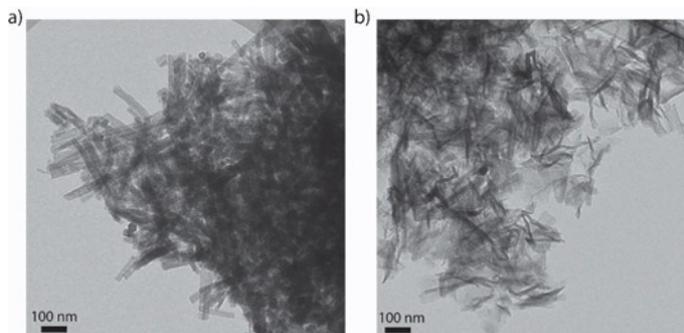
【ポイント】

- 配位高分子からカーボンナノロッドとグラフェンナノリボンを合成
- 極めて高い効率で大きなスケールでの生産が可能に
- 次世代のキャパシターの電極材料など、高効率なエネルギー貯蔵・変換への寄与に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160510/pr20160510.html

(電池技術研究部門)



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2016/05/18>

富士川河口断層帯の位置を陸・海で連続的（シームレス）に特定

—駿河湾北部沿岸域の地質・活断層情報を提供—

【ポイント】

- ・富士川河口断層帯で、最も活動度が高い活断層とされる入山瀬断層の海陸での正確な位置を確定
- ・富士川河口断層帯の海陸の連続性と、駿河トラフとの位置関係が判明
- ・駿河湾北部沿岸域周辺での精度の高い地質情報の提供や自治体の安全な都市づくりへ貢献

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160518/pr20160518.html

(地質情報研究部門)



<発表・掲載日：2016/05/20>

東アジア地域の地震と火山噴火に関する災害情報図が完成

—過去に発生した災害情報を一枚の地質図に表示—

【ポイント】

- ・地震と火山噴火に関する災害規模や種類、犠牲者数とその要因がアイコン表示で一目瞭然
- ・防災計画策定やハザードマップ作成の基礎データとして利用可能
- ・東アジアで活動する企業、旅行者などのリスク管理意識向上への貢献に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160520/pr20160520.html

(活断層・火山研究部門)



<次ページへ>

<前ページから>

<発表・掲載日：2016/05/23>

電池内部の反応不均一性を可視化

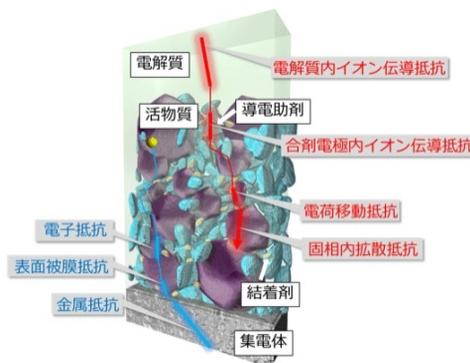
—長距離走行を可能とする自動車用電池設計へ適用—

【ポイント】

- ・リチウムイオン電池内部の反応不均一現象を可視化し、その発生要因を解明
- ・より科学的な観点からの高性能な電池の設計が可能に
- ・電気自動車の走行距離拡大へ向けた二次電池開発への適用が期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160523/pr20160523.html



<発表・掲載日：2016/05/27>

ヤヌスキューブの簡便な合成法を開発し、結晶構造の解析に成功

—2つの顔を持つケイ素と酸素からなる立方体—

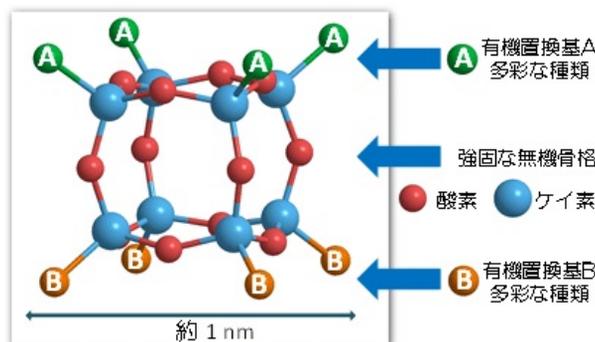
【ポイント】

- ・フッ素を含むケイ素化合物を新規に合成し、選択的に結合させる新しい合成法を開発
- ・きわめて簡便な合成法であり、さまざまなヤヌスキューブの合成が可能
- ・有機-無機ハイブリッド材料としてさまざまな分野での応用に期待

【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2016/pr20160527/pr20160527.html

(触媒化学融合研究センター)





他機関の情報

「平成28年度産学共同研究開発支援事業」の募集について ～企業と大学等の共同研究・製品開発に助成を行います～

(公募元：一般財団法人四国産業・技術振興センター)

STEP（一般財団法人四国産業・技術振興センター）は、イノベーション四国（※）と連携し、企業の技術開発・販路開拓をはじめとするイノベティブな取り組みに対する支援を行っております。このたび、四国の中小企業が大学・高専および公設研究所等と行う共同研究・製品開発について、下記の通り5月9日（月）から7月8日（金）の間、助成対象事業の募集を行います。

今年度の助成金額は1件あたり50万円程度、4件程度の採択を予定しています。

◆「産学共同研究開発支援事業」募集概要

1. 支援対象	四国内に本社または事業所を持つ中小企業
2. 対象事業	企業が取り組み中、または検討中の技術開発・製品開発のうち、大学・高専または公設試験研究機関等の研究者と共同で行う事業とします。
3. 支援対象経費 および助成金額	・当該事業の実施に直接必要な経費 ・1件あたり50万円程度を限度とします
4. 研究期間	1年（平成28年9月1日～平成29年8月31日まで）
5. 募集期間	平成28年5月9日（月）～7月8日（金） ※7/8（金）STEP必着
6. 応募方法	所定の申請書に必要事項を記載のうえ、STEPに提出 （申請書様式は、下記URLのSTEPホームページからダウンロード可） http://www.tri-step.or.jp/innovation/develop.html
7. 選考	審査委員会において、「技術面」、「事業化面」、「政策面」について、書類審査および必要に応じてヒアリングを行い評価した上で決定します。 採択件数は4件程度を予定しています。
8. 採否等の通知	8月上旬頃応募者宛に通知します
9. 実績報告	事業完了後、実績報告書を当センターに提出していただきます。
10. 応募に関する お問い合わせ・お申 込み先	〒760-0033 高松市丸の内2番5号 一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業振興部 井上、田中 TEL：087-851-7081 FAX：087-851-7027 E-mail： step@tri-step.or.jp URL： http://www.tri-step.or.jp/

※イノベーション四国（四国地域イノベーション創出協議会）

四国内の研究機関や産業支援機関など計32会員機関が平成20年度に設立した、企業が抱える課題の解決を四国の総合力で支援する組織。会員機関が、その保有する人材、ネットワーク、機器等の資源を活用し総合的な企業支援を行っている。運営に当たっては、STEPが事務局、産総研四国センターと中小企業基盤整備機構が副事務局を務め、四国経済産業局（以下「四経局」）が連携パートナーとして参画している。

【詳細はこちらから】

STEP 技術開発支援

検索

CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/innovation/develop.html>